



□□□□□□

みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ
〒028-1392 (住所不要)
山田町役場総務課情報係
(☎82-3111内線417) へ。

二月(如月)

二十四節気の「立春」。初めて春の気配が訪れる日、だんだんと日が長くなるころ、冬至と春分のちょうど中間、二十四節気は、ひと月を前半と後半に分け、暦の上で見やすくするために考え出されたという勝手な想像です。立春とはいえ、まだまだ寒い日が続く、春とは名ばかりでまだ真冬のようなです。冬来りなば春遠からず、と言いますが、梅のつぼみの膨らむころとなりませ。梅一輪一輪ほどの暖かさと申しますが、ことしの暖冬に誘われてか、梅のつぼみが色

やまだ文芸広場

- ・九十歳 ひ孫に囲まれ浦島太郎
- ・朝寒や うつらうつらと床の中
- ・うかうかと暮らすようでも瓢箪の胸のあたりにしめくくりあり

内館 洋一(飯岡・72)

- ・胸のうち かくす笑顔に学ぶもの
- ・思いやり 心に貯金 生きて行く

山崎 栄子(船越・66)

海の浜
海の浜咲く福幸の花が、
咲いて、咲き続け
山田のあった海、
海に海の浜の花に満開に...
大漁に...豊作を願って。

佐藤 啓子(船越・38)

めき始めたようにも思われます。正月三が日も終わり、節分、立春と足早に去っていきます。時節は間違いなく巡ってくるという、自然の法則が輝いて見えてきます。

二月の後半は「雨水」。立春から数えて15日後に当たるころ、雪が雨に変わり氷や残雪を溶かし水になるという季節を雨水としたものという勝手な想像です。そんな大気に育まれ、太陽の恵みを満喫する幸せを、いつま

でも次の世代に引き継ぎたいものです。

西館 隆(船越・82)

クリスマスイブ

師走の12月24日、「いっぽいっぽ山田」でクリスマススイブ。復興のさなかの静かな夜の街に、ちりばめる光。その中でひとときわ浮き立つ「三陸のぞみキリスト協会」。会場には大きいキャンドルがともり、皆さまが集いにぎわっております。

スタッフさんの体験の話が始

まると、静粛になりました。そして、スタッフさんの演奏で讃美歌10曲ぐらいかな、一人一人がキャンドルを持ち「もろびとよ」「きよしこの夜」。心が洗われるような安らぎを感じました。震災病でわらをもつかむ思いから、クリスマスチャンではないですが、知人たちにもお会いでき、クリスマスイブを楽しみました。12月に入るとわが家でも手づくりクリスマスツリーを部屋に飾り楽しみました。終わると丁寧に箱に納めて来年のために...

菊地 サカエ(織笠・80)

イラストコーナー



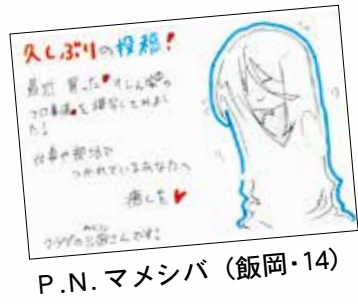
P.N. フィリップ☆(長崎・15)



P.N. 結(飯岡・14)



P.N. 空(織笠・?)



P.N. マメシバ(飯岡・14)

町長室から

正月三が日は大変穏やかな模様でありました。このような暖かい正月は私の記憶にはありません▼さて、5年前の震災当時に中学校を卒業した方たちが、1月10日に成人式を迎えました。対象者216名中184名が出席し、厳粛な雰囲気の中、新成人代表の素晴らしい宣誓のもと滞りなく式典が進みました。私はいさつの中で「君たちは大災害を乗り越えました。このことは、皆さんが将来大きな困難に直面した時に自信となり、乗り越えることができるでしょう」と話しました。また、多くの新成人が出席したという事実は、生まれ育ったまちを思う気持ちの表れなのだろうとうれしく感じました。同時に、その思いに応えられるようなまちづくりに取り組もうと気持ち新たにしました

▼新成人の皆さん、故郷山田で育ったことを誇りに、人の役に立つ大人になってください。

山田町長 佐藤 信逸